



年譜

年代	年譜
1932.12.22	東京、芝に生まれる。
1948頃	16歳の時からギターを始め、ジャズと現代音楽を学ぶ。
1950頃	鬼敏剛トップハットに所属しプロ入り。
1952	西良三郎クインテット、ダディ・リトルコンボ（「ジョジョ」はダディ・リトルが名付け親）、佐久間牧雄ジョーカース・クインテットなどを経る。
1953～	守安祥太郎、秋吉敏子、渡辺貞夫、渡辺辰郎、宮沢昭、沢田駿吾などと交流、ジャムセッションを行う。
1953	杉浦良三、滝本達郎とレッドノーヴォ風のトリオ、原田寛治を加えたテディーチャールズを狙ったカルテットを結成。ジャックコッカートリオに秋吉敏子の推薦で参加。
1954	ニューディレクションカルテット結成。（Vib: 杉浦良三、g: 高柳、b: 滝本達郎、ds: 原田寛治）
1954.07	ラジオ東京「イブニングコンサート」参加。「Shotaro Moriyasu Memorial」（Rock Well）
1954.07.27	横浜伊勢佐木町「モカンボ」でのセッションに参加。
1955～56	上田剛ニューサウンズ、ティープかまやつカルテットなどを経る。
1957	スイングジャーナル誌リーダースポール、ギター部門第1位。ニューディレクションカルテット「ジャズメッセージ・フロム・トウキョウ」（キング）、「ジャズシーン'57」（フルハウス）の録音に参加。
1958	ニューディレクションカルテット「モダンジャズコンサート・アット・ビデオホール」（キング）の録音に参加。
1959	ジョージ川口ビッグ・フォー+1、八木正夫トリオに所属。
1960～62	スイングジャーナル誌リーダースポール、ギター部門第1位。
1961	東京混声合唱団のレコーディングに参加。「原爆小景<林光 合唱作品>」（キング）
1961.01	ジャズ・アカデミー・カルテット結成。（p: 菊池雅章、g: 高柳、b: 金井英人、ds: 富樫雅彦）
1958～63	銀巴里フライダー・ジャズ・コーナー、ジャズ・セミナー、新世紀音楽研究所を組織し、10数回の自主コンサートを行う。
1963.06.26	「銀巴里セッション」（TBM）
1963.07～	64年7月まで演奏活動中止。
1964	この頃から主としてスイングジャーナル誌に寄稿。新人紹介、批評活動を行う。
1964.08	高柳昌行ジャズ・コンテンポラリー5結成。（vib: 神田重陽、g: 高柳、b: 稲葉国光、ds: 富樫雅彦）
1965.10.	キングス・ロードを金井英人らと結成。全国ツアー、南米ツアー。
1967	ボサノバグループ結成。68年4～5月「11PM」にレギュラー出演。
1968	後進の指導のため、「ニューアーティスト・オーガニゼイション」発足。1975年に「煉塾」と改名。
1968	高柳昌行ジャズ・コンテンポラリー4結成。（vib: 三戸部章、g: 高柳、b: 萩原栄治郎、ds: 岸田恵二）
1968	富田敏夫氏のプライベートレコード「フラワーガール」録音。92年8月「スマイル・アイ・ラブ」と題して復刻（ジンヤディスク）。06年12月「フラワーガール」復刻版CDを出版（ジンヤディスク）。
1969.04	富樫・高柳クインテット結成。（ts: 高木元輝、tp: 沖至、g: 高柳、b: 吉沢元治、ds: 富樫雅彦）
1969.05.23	富樫雅彦カルテット「ウイ・ナウ・クリエイト」録音。（ピクター）
1969.08	高柳昌行ニューディレクション結成。（g: 高柳、b: 吉沢元治、ds: 豊住芳三郎） 70年9月まで編成を4回変更し、「なぎさ」「ピットイン・ニュージャズホール」「ステーション'70」「ジャズ・ベッド」等にて活動。
1969.09.18	初リーダーアルバム「インディペンデンス」録音。（ティチク）
1970.03頃	JAZZ誌の座談会「吹き溜まりへの葬送曲は俺がかなでる」 この後、ジャズ喫茶関係から締め出される。 「コール・イン・クエスチョン」「ライブ・インディペンデンス」録音。（P・S・F）
1970.03.26	オーソドックスなスタイルで「プロフィールオブジョジョ」録音（ピクター）。 05年10月CDで再発売（ジンヤディスク）。
1970.06.28	阿部薫とのデュオ「解体的交感」コンサート録音。（サウンドクリエーター）
1970.07.09	渋谷ステーション'70で阿部薫とのデュオ「漸次投影」「集団投影」収録。（DEW）
1971.06	高柳昌行ニュー・ディレクション・フォー・ジ・アーツ結成。（reed: 森剣治、g: 高柳、ds: 山崎弘）
1971.08.14	三里塚日本幻野祭に出演「幻野～'71日本幻野祭」（URC）。 07年3月 "La Grima" 完全版を出版（doubtmusic）。
1972	スイングジャーナル誌リーダースポール、ギター部門第1位。
1972.01～	73年6月まで、スイングジャーナル誌のディスクレビューを執筆。
1972.02.24	渡辺貞夫のレコーディングに参加。「サダオワタナベ」（CBSソニー）
1972.04	高柳昌行ジャズ・コンテンポラリー再編。（vib: 三戸部章、reed: 森剣治、g: 高柳、b: 萩原栄治郎、ds: 津田駿司）

1972.05.19	高柳昌行ニュー・ディレクション・フォー・ジ・アーツ初録音「フリーフォームスイート」(TBM)。ジョー水木(ds)グループ参加。
1972.06.01	高柳昌行ニュー・ディレクション・フォー・ジ・アーツ「マンスリーコンサートvol.1」(青山タワーホール)。
1972.06	笠井紀美子のレコーディングに参加。「サテンドール」(CBSソニー)
1972.06	菊池雅章のリサイタルに参加。「菊池雅章+ギル・エバンス・オーケストラ」(フィリップス)
1972.06	渡辺貞夫クインテットに参加。
1972.10.	高柳昌行ニュー・ディレクション・フォー・ジ・アーツに井野信義参加。
1973.06.07	「マンスリーコンサート」の会場を「ジャンジャン」に移動。その後、90年12月17日のvol.70まで継続。
1973.06.27	フリージャズコンサート「インスピレーション&パワー」(トリオ)
1973.09.02	水野修孝のレコーディングにゲスト参加。「ジャズオーケストラ'73」(TBM)
1974.08	「菅野光亮・高柳昌行デュオ~パニック」録音。(ピクター・未発表)
1974.09	映画「砂の器」サウンドトラック録音に参加。「ピアノと管弦楽のための組曲「宿命」」(ポリドール)
1974.09	ジョー水木グループ退出。
1974.09	ニュー・ディレクション・フォー・ジ・アーツを「ニュー・ディレクション・ユニット」に改名。
1975.03	「エクリプス~侵蝕」録音。(イスクラ)
1975.04.30	米、ESPの依頼により「エイプリル・イズ・ザ・クルーエリスト・マンス」録音。(エイプリル)
1975.09.05	「アクシス~アナザー・レボラブル・シングvol.1、vol.2」録音。(オフ・ビート)
1976.01.16	フリージャズコンサート「インスピレーション&パワーvol.2」にて翠川敬基とデュオを録音。「緑色革命」(オフ・ビート)
1977.09.04	渋谷ジャンジャンでのレギュラーコンサートとは趣きを変えた「アナザーシチュエーション」を渋谷ブルチネラで開始。84年11月16日のvol.24まで継続。
1977.11	ティー・アンド・カンパニーの3部作録音。全国ツアー。
1978.12	クール・ジャズのグループ「セカンド・コンセプト」結成。(g:高柳、p:弘勢憲次、b:井野信義、ds:山崎泰弘) 同グループ、1980年6月頃まで「タロー」を中心に活動。
1979.12.03	「クール・ジョジョ」録音。(TBM)
1980.03	急性気管支炎、肝炎の合併で入院
1980.05.26	西独メールスジャズフェスティバルに出演。「ライブ・アット・メールスジャズフェスティバル」(TBM)
1981.01.15	食道静脈瘤破裂で倒れ慶應病院に入院。
1981.10.18	名古屋ヤマハホール、ヤマハジャズクラブ100回記念コンサートに出演。渡辺貞夫とデュオを行う。
1982.08.21	「ロンリーウーマン」録音。(トリオレコード)
1982.12.01	新宿pit-innでのロンリーウーマン発売記念ライブ。 06年8月「Lonely woman live」として出版(ジンヤディスク)。
1982.12	高柳昌行アングリーウエーブス結成。(g:高柳、b:井野信義、ds:山崎弘)同グループは85年10月頃まで「アケタの店」「ピットイン」等に出演。
1983.04.03	キッドアイラックホールでのNDUアナザーシチュエーションvol.18。 06年6月CDR「Another Situation Vol18.part1」を出版(ジンヤディスク)。
1983.05.27	富樫雅彦とのデュオアルバム「パルセーション」録音。(キング)
1983.08.14	キッドアイラックホールでのNDUアナザーシチュエーションvol.20。 06年8月「Mass hysteria」として出版(ジンヤディスク)。
1983.11.26	ピアノ参加のアングリーウエーブス(g:高柳、p:安田英充、ds:山崎弘)による「アケタの店」ライブ。 05年10月「ディスロケーション(断層)」として出版(ジンヤディスク)。
1984	詩人「吉増剛造」と高柳昌行・翠川敬基の共演。07年1月「死人」として出版(ジンヤディスク)。
1984.11.07	富樫雅彦インプロヴィゼーションジャズオーケストラの草月ホールでのコンサートに参加。「フォロー・ザ・ドリーム」(キング)
1985.01.13	アングリーウエーブス、浜松シティー8で「850113」録音。(アケタズ・ディスク)
1985.01頃	「アケタの店」でソロインプロヴィゼイションのリハーサルステージを始める。
1985.10.05	ニュー・ディレクション・ユニットを「ソロインプロヴィゼイションアクションダイレクト」に移行した初めてのコンサートを増上寺ホールで行う。「アクションダイレクト」(ALM)
1986.03.28	ジョン・ゾーンとのデュオ「エキスペリメンタル・パフォーマンス・イズ・ジョン・ゾーン」録音。(Moby's)
1986.06	高柳昌行・斎藤徹デュオ開始。同デュオは88年11月頃まで続く。
1986~88	渋谷ジャンジャンでのレギュラーコンサートの他は「アケタの店」「ラブリー」「ジャズメンクラブ」での活動が中心。
1989.10頃	高柳昌行・井野信義デュオ開始。
1989.11.17	新宿ピットイン「高柳昌行3days」でタンゴ、デュオ、ソロの3つのコンセプトを演奏。(17~19日)
1990.03.20	名古屋「ラブリー」にて井野とのデュオ「リーズンフォービング」(ジンヤディスク)録音。(3曲収録)
1990.08.01	「ピットイン」にてロコ高柳とロスボブレス「エルブルソ」(ジンヤディスク)録音。(14曲収録)
1990.08.04	渋谷ジャンジャンでのレギュラーコンサートから「イナニメイトネイチャー」(ジンヤディスク)録音。
1990.10.27	「ロマニシェスカフェ」にて「リーズンフォービング」(ジンヤディスク)録音。(2曲収録)
1990.10.28	ギターによるタンゴコンフルト、ロコ高柳とロスボブレス結成記念コンサートを「ジャンジャン」で行う。「エルブルソ」(ジンヤディスク)録音。(3曲収録)
1990.12.16	浜松のシティ8で「カダフィーのテーマ」収録。(ジンヤディスク)
1991.04.07	名古屋ヤマハホールにてコンサート「For JooJoo」。この頃から体調悪化。
1991.04.15	1975年録音の幻のESP盤発売記念コンサートを「安田生命ホール」で行う。
1991.04.27	ラストステージとなった名古屋「ギャラリーないとう」でのアクションダイレクトコンサート。
1991.05	病状悪化のため、スケジュールをキャンセルする。

1991.06.23	午前0時35分、肝不全のため東京新宿区の慶應義塾大学病院で永眠。享年58歳。
2006.12	高柳昌行の音楽論集成「汎音楽論集」出版（月曜社）。